

令和元年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標 1 誰もが利用しやすい地域福祉の 仕組みづくり		判定			
		A	B	C	D
			14	3	
施策の方向性		判定			
		A	B	C	D
1	誰もが利用しやすい体制・情報提供の充実		13	4	
2	地域福祉のニーズキャッチの充実		17		
3	福祉サービスの充実と権利擁護の推進		15	2	

A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施

施策の方向性 に対する評価
B
B
B

A、B、C、Dで評価

基本目標に 対する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

附帯意見

《1-1：誰もが相談しやすい体制・情報提供の充実》

◆総合相談の窓口について、具体的にどのような形で総合的な相談に応じるかという体制については、検討を具体的に進めておらず、総合相談窓口についての形を明確にする必要がある。

◆総合相談窓口の対応方法については、たらい回しにすることがないようにすることが最も重要だが、それに対応する職員の能力・スキルがかなり高い対応能力が求められるので、その点を今後どうするのか検討していかなければならない。

《1-2：地域福祉のニーズキャッチの充実》

◆那須塩原市では、地域全域で地域ケア会議が進められていて、色々な形でニーズが市や社協に挙げられて把握されていると思うが、挙げてきたニーズに対してどのように政策を変えていくのかということについてきちんと話し合っていないと、ニーズを挙げていっても結果的にそれが政策につながるのは難しい。

《1-3：福祉サービスの充実と権利擁護の推進》

◆どのように相談にのっていくのかという具体的な対策がないとより良い形にしていくのは難しいのではないかと。

《その他の意見》

◆総合的な相談窓口が一番重要になってくると思う。仕組みをどう作るかという議論が、新庁舎建設がまだという理由で先延ばしされているということはいかかなものかと思う。今からでもできることをやっていかないと、色々な課題は先に動いているので、庁舎建設を待つ必要はないと思っている。県内でもいくつか取り組みを実施しているところがあるので、参考にしてひな型を検討してほしい。

令和元年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標2 誰もが暮らしやすい生活環境づくり		判定			
		A	B	C	D
			15	2	
施策の方向性		判定			
		A	B	C	D
1	生活環境の充実	1	15	1	
2	防災・防犯体制の充実		15	2	
3	地域での居場所づくり、活躍の場づくり	3	14		
4	地域における見守り体制の充実		15	2	

A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施



施策の方向性 に対する評価
B
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

附帯意見

《2-1：生活環境の充実》

◆ゆーバスやゆータクの利用率が上がっている点、バリアフリー化が進んでいる点は評価できるが、よりきめ細かなニーズに対応できる施策を考える必要がある。ゆーバスやゆータクだけではカバーし切れない部分もあると思うので、近隣の生活支援のあり方を住民の方と一緒にどう検討するか課題である。

《2-2：防災・防犯体制の充実》

◆避難行動要支援者の把握や計画づくりが進んでいる点は評価できるが、まだ取りこぼされている人がいると思うので、特に地域に中で孤立していたり、自治会未加入者だったり、そういう方々へのアプローチを今後ますます進めていく必要があるのではないか。

《2-3：地域での居場所づくり、活躍の場づくり》

◆子ども食堂について、行政側で運営のルール作りをしてもらえるとよい。

◆障害を持っている方の居場所が整備されていないのではないか。地域住民の方と障害を持った方が交流するような場所を検討する必要があるのではないか。

《2-4：地域における見守り体制の充実》

◆見守りについては、地域住民助け合い事業が広がってきて、成果が上がってきているという評価だったが、例えば、子どもの貧困のニーズのようなものに関しては、今後も注視していく必要があるのではないか。今後ますますきめ細かな課題の把握をお願いしたい。

《その他の意見》

◆過度に自治会長や民生委員に依存する制度ばかりを作ると、そこが機能しなくなってしまうので、あまり依存しないということを考えないとなり手がなくなるということを付け加えたい。

令和元年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画  
委員の評価集計及び総合評価

基本目標3 みんなで支え合う、意識づくり、 人づくり、つながりづくり		判定			
		A	B	C	D
施策の方向性			14	3	
		A	B	C	D
1	お互いを理解し、尊重し合える環境づくり		15	2	
2	地域福祉活動の担い手の育成		15	2	
3	地域でのつながりづくり	1	14	2	

A：計画達成  
B：おおむね達成  
C：遅延  
D：未実施

施策の方向性 に対する評価
B
B
B

A、B、C、Dで評価

基本目標対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

附帯意見

《3-1：お互いを理解し、尊重し合える環境づくり》

◆障害者について、一般的には理解が進んでいない。理解促進の施策を充実させて欲しい。

《3-2：地域福祉活動の担い手の育成》

◆介護ボランティアポイント事業を広く周知し、もっと活用して欲しい。

また、対象を65歳以上ではなく、幅広くしてはどうか。

◆障害者施設にもボランティアが入ると良い。

《その他の意見》

◆計画の大きな課題として、障害を持つ方への理解をどうやって進めるかということが非常に大きな課題として計画の策定段階で出ていたが、目新しい取組が出てきていない。障害を持っている人との日常的な交流活動、サロンのなものを作った交流活動などに加えて何かやらないと計画の時に課題に挙がっていた、障害を持つ方への理解促進がなかなか進んでいかないのではないかな。

◆介護ボランティアには、介護の現場はどのようなことに困っているか、介護施設は何を目的としているのか等、ボランティア活動の内容について事前研修することを願いたい。